



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本食品化工株式会社

コード番号 2892 URL <http://www.nisshoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 戸名 厚

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 大野 浩

TEL 03-3212-9112

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	15,551	0.6	808	101.7	838	77.0	537	96.1
24年3月期第1四半期	15,465	12.7	400	61.0	474	88.2	273	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 328百万円 (151.5%) 24年3月期第1四半期 130百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	21.84	—
24年3月期第1四半期	11.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	40,687	16,259	40.0	660.90
24年3月期	40,084	16,053	40.0	652.53

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 16,259百万円 24年3月期 16,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	1.2	1,100	103.2	1,200	63.2	800	72.2	32.52
通期	58,000	0.5	1,400	402.9	1,400	98.2	900	152.2	36.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	32,000,000 株	24年3月期	32,000,000 株
25年3月期1Q	7,398,303 株	24年3月期	7,398,303 株
25年3月期1Q	24,601,697 株	24年3月期1Q	24,602,265 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページの「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による景気の低迷からは徐々に回復が見られるものの、欧州債務問題の長期化による金融不安や国内における電力供給不足の懸念など、国内景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

原料とうもろこしのシカゴ相場は、期初655.00セント／ブッシェルで始まりましたが、5月中旬以降は米国の12／13年産とうもろこしの生産高見通しが史上最高となったことに加え、欧州債務問題や米国経済の先行きの不透明感による投機筋のリスク回避の動きから一時551.50セント／ブッシェルまで値を下げました。しかし、米国中西部の高温・乾燥天候による生育悪化懸念などから再び高騰し、第1四半期末時点では672.50セント／ブッシェルとなりました。

また、原油相場は期初105.23ドル／バレルで始まりましたが、欧州債務問題や米国経済の先行きの不透明感による原油需要の減少懸念などから徐々に値を下げ、6月上旬には80ドル／バレル台前半まで値を下げました。さらに、6月のOPEC総会において生産枠の据え置きを決定した一方で、依然として続いている世界経済の先行きの不透明感などから、6月下旬には77.69ドル／バレルまで値を下げましたが、その後は若干値を戻し、第1四半期末時点では84.96ドル／バレルとなりました。

一方、米国から日本までの穀物海上運賃は期初60ドル／トン近辺で始まりましたが、中国の石炭および鉄鉱石輸入量の回復から、一昨年からの新造船の市場への大量投入による船舶供給の余剰感に加え、中国経済の鈍化見通しや世界経済の先行きの不透明感などから値を下げ、第1四半期末時点では55～60ドル／トン近辺となりました。

為替相場は期初84.20円／ドルで始まり、日銀が追加金融緩和を見送ったことや米国経済の先行きの不透明感などから一時78円／ドル台まで円高が進みました。しかし、米連邦準備理事会（FRB）が量的金融緩和の拡大を見送ったことや欧州債務問題への悲観的な見方が後退したことから若干円安となり、第1四半期末時点では80.31円／ドルとなりました。

このような状況のもと、当社グループは生産効率の改善、製品在庫水準の適正化および物流コスト削減に継続的に取り組むとともに、前期に引き続き付加価値製品の拡販に注力しました。

販売面につきましては、昨年は飲料を中心に震災後の節電に備えた前倒し生産による増産や例年になく早い梅雨明けなどから清涼飲料向け糖化製品の販売が好調に推移しましたが、今年は夏場の節電対策に備えた前倒し生産が多少発生したものの昨年には及ばず、また天候も不順であったことから清涼飲料向け糖化製品の販売数量が伸びず、糖化製品全体の販売数量は減少しました。一方、製紙向け等の工業用澱粉は、東日本大震災で被災していた東北地区の各製紙工場の生産が回復したため、販売数量は増加しました。

収益面につきましては、昨年の原材料価格の高騰に伴う販売価格の改定が徐々に浸透したことにより、収益は改善しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は155億5千万円となり前年同期比8千万円（0.6%）の増収、営業利益は8億円と前年同期比4億円（101.7%）の増益、経常利益は8億3千万円と前年同期比3億6千万円（77.0%）の増益、四半期純利益は5億3千万円と前年同期比2億6千万円（96.1%）の増益となりました。

次に、各部門の販売概況は以下のとおりであります。

(澱粉部門)

澱粉部門は、食品用澱粉の販売数量は減少しましたが、東北地区の各製紙工場の生産が回復したことにより工業用澱粉の販売数量が増加し、売上高は36億1千万円と前年同期比9千万円(2.6%)の増収となりました。

(糖化品部門)

糖化品部門は、天候不順により当社の主力製品である異性化糖等の糖化製品の販売数量が減少しましたが、販売価格の改定が徐々に浸透したことにより、売上高は97億8千万円と前年同期比2千万円(0.2%)の減収とほぼ前年並みとなりました。

(ファインケミカル部門)

ファインケミカル部門は、医薬用糖化製品の販売数量が増加したため、売上高は5億2千万円と前年同期比1千万円(2.9%)の増収となりました。

(副産物部門)

副産物部門は、販売数量が若干増加したことにより、売上高は16億2千万円と前年同期比2百万円(0.2%)の増収とほぼ前年並みとなりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、406億8千万円となり、前連結会計年度末と比較して6億円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が21億6千万円減少したものの、受取手形及び売掛金が23億6千万円、原材料及び貯蔵品が9億1千万円増加したこと等によるものです。また、負債については、前連結会計年度末と比較して3億9千万円の増加となりました。その主な要因は、借入金が(純額)6億7千万円増加したこと等によるものです。

なお、純資産は162億5千万円となり、自己資本比率は40.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下資金という)の残高は、11億1千万円となり、前連結会計年度末と比較して21億6千万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は21億9千万円(前年同期比5.7%増)となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益8億3千万円に減価償却費4億6千万円を加算した額から売上債権の増加額23億6千万円、たな卸資産の増加額12億1千万円を控除した額等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は5億4千万円(前年同期比107.8%増)となりました。

これは主として、当社工場設備への投資などの有形固定資産の取得による支出5億4千万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は5億7千万円(前年同期比54.8%減)となりました。

これは主として、借入金の増加(純額)6億7千万円から配当金の支払1億円を控除した額等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月27日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社グループは、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,271	1,111
受取手形及び売掛金	11,269	13,634
商品及び製品	3,278	3,678
仕掛品	2,336	2,243
原材料及び貯蔵品	3,098	4,009
繰延税金資産	323	336
その他	1,043	447
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,621	25,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,407	3,340
機械装置及び運搬具（純額）	5,416	5,518
工具、器具及び備品（純額）	149	149
土地	1,862	1,862
リース資産（純額）	77	72
建設仮勘定	401	201
有形固定資産合計	11,315	11,145
無形固定資産	299	279
投資その他の資産		
投資有価証券	2,743	2,710
長期貸付金	10	9
繰延税金資産	893	885
その他	204	200
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	3,847	3,801
固定資産合計	15,462	15,226
資産合計	40,084	40,687

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,302	2,241
短期借入金	3,295	3,995
未払金	3,296	3,307
未払法人税等	158	217
賞与引当金	746	250
役員賞与引当金	3	2
その他	207	445
流動負債合計	10,010	10,460
固定負債		
長期借入金	10,342	10,321
退職給付引当金	3,061	3,044
役員退職慰労引当金	19	—
長期未払金	122	132
資産除去債務	415	416
その他	59	54
固定負債合計	14,020	13,968
負債合計	24,031	24,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金	328	328
利益剰余金	16,022	16,436
自己株式	△2,144	△2,144
株主資本合計	15,805	16,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	160
繰延ヘッジ損益	161	34
為替換算調整勘定	△86	△155
その他の包括利益累計額合計	247	39
純資産合計	16,053	16,259
負債純資産合計	40,084	40,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	15,465	15,551
売上原価	12,739	12,599
売上総利益	2,726	2,952
販売費及び一般管理費	2,325	2,144
営業利益	400	808
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	33	24
持分法による投資利益	53	54
試作品売却益	24	3
受取ロイヤリティー	0	—
受取保険金	0	7
その他	42	11
営業外収益合計	155	101
営業外費用		
支払利息	78	63
その他	3	7
営業外費用合計	82	71
経常利益	474	838
特別損失		
固定資産除却損	4	—
投資有価証券評価損	11	—
ゴルフ会員権評価損	9	—
弁護士報酬	—	8
特別損失合計	25	8
税金等調整前四半期純利益	448	830
法人税、住民税及び事業税	64	213
法人税等調整額	109	79
法人税等合計	174	293
少数株主損益調整前四半期純利益	273	537
四半期純利益	273	537

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	273	537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△12
繰延ヘッジ損益	△63	△127
持分法適用会社に対する持分相当額	△84	△68
その他の包括利益合計	△143	△208
四半期包括利益	130	328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130	328
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	448	830
減価償却費	502	463
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△19	△19
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△49	△16
投資有価証券評価損益 (△は益)	11	—
ゴルフ会員権評価損	9	—
受取利息及び受取配当金	△34	△24
支払利息	78	63
持分法による投資損益 (△は益)	△53	△54
固定資産除却損	4	—
弁護士報酬	—	8
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,886	△2,364
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△755	△1,217
仕入債務の増減額 (△は減少)	254	△60
その他	△524	393
小計	△2,014	△2,000
利息及び配当金の受取額	35	25
利息の支払額	△79	△64
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△13	△150
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,072	△2,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△256	△545
無形固定資産の取得による支出	—	△0
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
長期貸付けによる支出	△1	—
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△2	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261	△543
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,500	700
長期借入金の返済による支出	△126	△21
配当金の支払額	△99	△100
リース債務の返済による支出	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,268	572
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,065	△2,160
現金及び現金同等物の期首残高	2,797	3,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,732	1,111

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。